

第8回総合計画策定幹事会概要

日	時	平成20年12月8日(月) 午前10時20～午後0時5分	
会	場	庁議室	
出	席	者	勇幹事長、加藤幹彦幹事、唄中幹事、山本勝彦幹事、進藤幹事、入江幹事 浅見幹事、西村幹事、中村健治幹事、山本芳一幹事、苗村幹事

【議事】

1 草津市の現状と課題について（再検討）

事務局から説明。

《意見等》

- ・昨日の策定懇話会の内容は、加味されているのか。議論はされているのか。
→議論はまだしていない。昨日は、二つの会議があった。土曜、日曜日の「座・でいすかす」には、90人の応募があって18人を選んだ。「座・でいすかす」は、安心して子育てのできる地域社会という議題で議論いただいている。もひとつは、8名の学識経験者が「協働と文化」ということで議論して頂いた。いろんな御提案を頂いているし、詰めながらまとまったら報告する。入れ込む要素があれば、今後、加味していく。
- ・「新しい自治のしくみへ」について、今までの行政主体ではなく、市民がやっていく新しい市民自治というのが、メインになっている。「新しい市民自治」とか「市民自治の仕組みとか」「市民自治」そのものを出した方がいいのではないか。
- ・草津八景を取り入れてはどうか。
- ・地域間格差、生活利便性の格差とはっきり言い切ってしまうが書き過ぎではないか。差があるのは公共交通だけではないのか。全てが入ってくるものではないのでは。
- ・「成熟型社会における持続可能なまちづくりへ」の表現であるが、成熟型社会と言えば頭打ち社会のことであり良い意味で使わないのでは。マイナスイメージになるのでは。

2 まちづくりの理念と都市ビジョンについて（再検討）

事務局から説明。

《意見等》

キーワードについて

- ・「心が大切」と「人が大切」の内容が逆の感があるが説明文が足りないのでは。
- ・人が大切と言いながら「まちづくりを進めます」で括っている。「大切」で括る必要があるのか。
- ・キャッチフレーズ化するというのは難しいのではないか。広い議論になっていくから終わりが無い。

都市ビジョンについて

- ・「安心・希望の叶う街道のまち草津を」候補として追加提案。